



漱石が使った教科書

—明治32年の第五高等学校教科書配当表—

村田由美 五高記念館客員准教授

一 はじめに

漱石が第五高等学校で使った教科書については、これまで卒業生の回想によって、わずかに知られているだけである。川島幸希氏は、その著書『英語教師 夏目漱石』で、漱石が五高時代に使った教科書として、「生徒の回想に頼らざるを得ないのが現状」であり、「複数の情報に基づく確実なもの」として「通常の講義」「課外講義」で使用された教科書名をあげている。しかし、川島氏は、どこからその情報を得たのか典拠を示していないので、以下に川島氏が挙げていないものも含めて、回想を記した五高時代の教え子の名前と出典を明らかにした。

また、今回『雑件 乙』(明治30～32年)の中に明治32年度の教科書配当表があるのをみつけたので報告する。各科・学年で使う教科書名が記されている。特に英語については、漱石の蔵書及び、五高図書館にあったと思われる教科書(「第五高等学校学生貸与洋書教科書目録」『資料集成 旧制高等学校全書 第三巻』)と照合した。ただし、表にあるように、洋書名がカタカナで表記されているため、特定できないものもあった。

二 教え子の回想にある教科書名

教え子たちが回想で述べている教科書として、川島氏は講義において以下の(1)～(5)、課外講義として(1)～(3)をあげている。それらの出典を示すとともに、講義については(6)～(13)を追加した。ただし、川島氏が講義の教科書としてあげた(5)の出典については今回確認できていない。

講義

- (1) E・バーク『フランス革命論』 Edmond Burke: Reflections on the French Revolution (速水滉「熊本時代」『新小説 文豪夏目漱石』大6・1)
- (2) T・ド・クインシー『阿片常用者の告白』 Thomas De Quincey: Confessions of an English Opium Eater (八波則吉「漱石先生と私」『漱石全集 月報』1976・4、寺田寅彦「夏目漱石先生の追憶」)
- (3) G・エリオット『サイラス・マーナー』 George Eliot: Silas Marner (八波則吉 同上、寺田寅彦 同上)
- (4) P・ハマートン『ヒューマン・インターコース』 Philip Hamerton: Human Intercourse (明治30年9月4日付 赤木通弘宛書簡)
- (5) P・ハマートン『知的生活』(The Intellectual Life)
- (6) ティンダル及びヘルムホルツ「ベルファスト・アドレセス」John Tyndall: Belfast Addresses、Hermann von Helmholtz? (木部守一「私の見た漱石先生(上)」『漱石全集 月報』1976・4)
- (7) 『ジェムス・オブ・イングリッシュ・プローズ』 Gems of English Prose (木部守一同上、内丸最一郎 「回想」『新小説 文豪夏目漱石』同上)
- (8) 「アツチツク、フィロソファー」Emile Souvestre: Attic Philosopher in Paris (八波則吉 同上、藤村作『ある国文学者の生涯』)
- (9) 『チェスターフィールド卿の手紙』 Lord Chesterfield's Letters (明治30年9月4日付 赤木通弘宛書簡)
- (10) Helps' Essays (落合貞三郎「憶ひ出の一片」『龍

南会雑誌』1926・12)

- (11) John Foster: An Essay on Decision of Character(落合貞三郎 同上)
 (12) スキントン『英文学』上下(落合貞三郎 同上)
 (13) デイケンズ (藤村作 同上)

課外講義

- (1) W・シェークスピア『ハムレット』(速水滉同上、藤村作同上)
 (2) W・シェークスピア『オセロ』(藤村作『同上』、寺田寅彦「夏目漱石先生の追憶」)
 (3) クレイク夫人『ジョン・ハリファックス、ジェントルマン』(Mrs. Craik: John Halifax Gentleman)
 (内丸最一郎『新小説 文豪夏目漱石』、落合貞三郎 同上)

講義の(5)(6)については、「高等学校教科用図書」(『高等学校長会議決議』)中にその名があるが、ヘルムホルツの名はないので詳細は不明である。(7)については「山口高等中学校の使用教科書(明治三十六年度)」(『旧制高等学校全書』)に同じ教科書名がある。また(4)については、「法科一系 甲乙共」、(8)については「工科一系 甲乙共」と漱石が明治30年9月4日付の赤木通弘に宛てた書簡に記されていて法科、工科の1年級で使用されたものとわかる。

三 明治32年の教科書配当表

教科書配当表は青焼きで、書類の中に1枚だけ挟まれており、前後にこれに関する書類がないのでその詳細についてはわからないが、漱石在任中の全学年の教科書が記されている点で貴重な資料といえる。また、『資料集成 旧制高等学校全書』では明治期の教科書としては明治19年度の第三高等学校、明治25年度の山口高等中学校、明治36年度の山口高等学校のものしか掲載されていないので、明治期の高等学校の教育について知る一資料となると思われる。

ここでは英語の教科書を中心に述べる。まず、法科、文科1年で使われている「テールスフロムワシントンアヴィング」は、Irving: Tales from Washington Irving のことで、これは 漱石の蔵書にある。法二の「スコッチスユニベリシティー アドレス」はおそらくスコット(Sir

Walter Scott)の大学での講義録と思われるが、詳細は不明である。

文二の「セルフカルチュア」については、Blakieの『Self-Culture』があり、五高の教科書目録にも入っている。また、『明治三十四年至明治三十六年 高等学校校長会議決議』の中に綴じられている「高等学校高等学校教科用図書」の中にもその名があるので、各高等学校で普通に使われていた教科書であったことがわかる。また、ここにはPhilip Hamerton: Human Intercourse、The Intellectual Life、Emile Souvestre: Attic Philosopher in Paris の書名も記されており、当時各高等学校で使用されていた教科書だったことがわかる。

「セルフカルチュア」についてはもう一つの可能性として、SmilesのSelf-cultureもある。昭和8年の岡田実磨『最新英文和訳の要領』(外語研究社)に掲載されているので受験英語として知られていたということは、知名度は高かったと推測される。

文三、理三の「コンフュッション、オフ、アンオピヤムイーター」はT・De Quinceyの Confessions of an English Opium Eater、第二部二年の「インテレクチュアルライフ」は、P・ハマートン『知的生活』(The Intellectual Life)である。

第一部法三の「エッセー、アンブルス」、第二部1年(理工農)の「ストオノ ピ子ス、リーオフアワー、インタイムス」同2年の「トムソンホール」は不明である。今後さらに調査を続けたい。

第五高等学校大学予科教科書配当表

		国語	漢文	英語	独語	仏語	数学	法学通論
第一部	法一	保元物語、唐物語、十六夜日記	孟子 戦国策	テールスフロム、ワシントンアーヴィング	コンフォルトジャマンコース、リオン独逸文法一、キューベン及ナツケー第四読本	山崎樵策訂正仏蘭西文法捷徑、ロセロールレクチュールコンファチース、ラリブ及フロリ文典		
	文一	全	全	全	コンフォルトジャマンコース、リオン独逸文法一、独逸協会学校編 独逸読本第三		トッドハンター小平面三角法、バックル平面解析幾何	
	法二	大鏡	論語、荀子	スコッチス ユニベリシチー アッドレス	龍南会読本、ボー子一第二読本、リオン独逸文法、ハントプッフ、テル、ドイツチェンシブラアヘー	ラリブ及フロリ文典ブリュノール ツールドドラフランス、ウオルテールイスト、ワルドシャルハドウス、今村仏語啓蒙		
	文二	全	論語、荀子、檀方	セルフカルチュア	龍南会読本、ホップウントパウルジーク、独逸読本(クインター)ウィルマンズ文法一、二			
	法三		書経、韓非子	エッセー、アンブルス	独乙政法要義 エンゲリン第四読本、ランゲージヤマンズアットホーム	ウオルテールイストワルドシャルハドウス、フェスロンテレマックエスバックアントロデクシオンアデチェドドロワ		テリー コンモンロー
	文三	土佐日記、源氏物語、万葉集	書経、莊子 右ノ外漢文志望者ニハ左伝及韓非子ヲ課ス	コンフッスション、オフ、アンオピヤムイーター	独乙名家詩文抄、ランゲージヤマンズアットホーム			
第二部	一年(理工農)	中古大鑑	孟子	クエストオフハッピーズ、ヒストリーオブアワー、オーンタイムス	コンフォルトジャマンコース		スミス大代数学、トッドハンター大平面三角法	
	二年	十六夜日記	孟子	インテレクチュアルライズ、トムソンホール	ポック第三読本		バックル平面解析幾何	
	工三						オルチス立体解析幾何、ウィリヤムソン微積分	
	理三			コンフェッション オフアンオピヤムイーター	グルーバー万名家小伝			
	農三			全	全		全	
第三部	一年	中古大鑑	孟子		コンフォルトジャマンコース、リオン文法一、ボー子一第一読本		バックル平面解析幾何、トッドハンター小平面三角法	
	二年	十六夜日記	全		エンゲリン第三読本、ウィルマンズ文法二、ランゲージヤマンズアットホーム			
	三年				エンゲリン第四、五読本、ハイゼー文典、ゲジツケー羅甸読本			